opusdei.org

## 聖ホセマリアの生涯 -32

ピレネー山脈を越えてフランスに入り、そこから自由なスペインに入るという計画は危険とともに多くの困難がありました。

2023/12/21

## 過去の記事はこちらから

ピレネー山脈を越えてフランスに入り、そこから自由なスペインに入るという計画は危険とともに多くの困難がありました。移動に必要な通行

許可書を手に入れるのは容易ではあ りません。種々の費用、なかでも脱 国隊の案内人に支払う高額の金が要 ります。さらに山中の行軍に耐えら れるかどうかの不安。だが最大の困 難は聖ホセマリアの迷いでした。危 険な地域に他のメンバーや家族を置 いて逃げることがよいのか、という 迷いです。迷いを払拭できないま ま、神父は通行許可書を手に入れた 数人のメンバーとともにマドリード を発つことにしました。親切な友人 知人の協力で必要な資金を手に入 れ、10月8日に出発。バレンシアを 通って10日にバルセローナに到着。 すぐに脱国を手助けするグループと 接触を試みました。

窓口となった食堂の店主を通して脱国隊の案内人と連絡を取ろうとしました。最初のグループに加われなかったのですが、そのグループは山中で警備隊に見つかり全員逮捕され、その後警備がますます厳重にな

りました。このニュースが新聞に載ると、脱国の組織者たちは姿を消してしまい、時間だけが過ぎていきました。神父たちは焦る気持ちと空腹と戦いながら、毎日バルセローナでといながらではこの町で起来した。同時に神父はこの町でもました。同時に神父はこの町で求める人に霊的な慰めを与えることに努めました。

本格的な行軍が始まる直前、一行は リアルプという森の中にある教会の 隣の建物に泊まりました。若いメン バーは疲れで眠り込んでしまいまし たが、神父は残してきた人たちを考 えて一睡もできませんでした。夜明 けに一人で教会に入り、戻って来た とき、それまでに憂いが全く消え去 り、顔は晴れ晴れとしていました。 内部をめちゃくちゃにされた教会の 床に木彫りのバラの花(写真)を見 つけたのです。実は神父は聖母マリ アに脱国が神の望みだということを 示す証拠を頼んでいました。バラは 「くすしきバラの花」とも呼ばれる 聖母マリアからの答えと直感したの

です。

尾崎明夫

pdf | から自動的に生成されるドキュメント https://opusdei.org/ja-jp/article/sei-josemaria-32/ (2025/12/13)